

# 年表

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>明治29年(1896) 10・16 東武鉄道(株)設立</p> <p>明治31年(1898) 2・25 大師電気鉄道(株)設立〔明32・4 京浜電気鉄道(株)と改称,京浜急行電鉄(株)の前身〕</p> <p>明治33年(1900) 3・16 私設鉄道法・鉄道営業法各公布(法)(10・1 施行) 5・1 東京電気鉄道(株)設立(のちの東京市電の一部)</p> <p>明治35年(1902) 4・18 東京市街鉄道(株)設立(のちの東京市電の一部)</p> <p>明治36年(1903) 8・22 東京電車鉄道(株)〔東京馬車鉄道(株)の改称〕新橋～品川駅前間開業(東京の路面電車営業の初め) 9・12 大阪市営電気軌道開業(市営電車の初め)</p> <p>明治37年(1904) 3・9 横浜鉄道(株)設立 8・21 甲武鉄道(株)飯田橋～中野間で電車運転開始(のちの中央線電車)</p> <p>明治38年(1905)</p>	<p>11・18 玉川砂利電気鉄道(株)玉川～三宅坂間電気鉄道敷設出願</p> <p>2・8 玉川砂利電気鉄道(株)渋谷～玉川間軌道敷設特許 3・20 玉川電気鉄道(株)に名称変更</p> <p>10・4 玉川電気鉄道(株)創立</p> <p>10・3 玉川電鉄,火力発電所建設出願(明37・10・25認可)</p>	<p>この年から翌年にかけて三宿から三軒茶屋に駒沢練兵場ができた</p> <p>この年 ・世田谷村太子堂の東北に陸軍第2衛戍病院(現国立小児病院)ができた</p> <p>この年 ・現駒沢大学の前身である曹洞宗大学が麻布より現在地に移転</p>

一般・鉄道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>明治39年(1906)</p> <p>9・11 東京鉄道(株)設立 (東京市電の前身)</p> <p>11・1 日本鉄道が国有化されて山の手線となる</p> <p>明治40年(1907)</p> <p>1・21 東京株相場暴落 (日露戦争後の恐慌の端緒)</p> <p>10・19 箕面有馬電気軌道(株)設立〔専務取締役小林一三、のちに阪神急行電鉄(株)と改称〕</p> <p>明治41年(1908)</p> <p>12・11 九州電気軌道(株)設立〔西日本鉄道(株)の前身のひとつ〕</p> <p>明治42年(1909)</p> <p>6・30 京成電気軌道(株)設立</p> <p>12・16 山の手線で電車運転開始</p> <p>明治43年(1910)</p> <p>4・21 軽便鉄道法公布(法)(8・3施行)</p> <p>9・21 京王電気軌道(株)設立</p> <p>10・1 鬼怒川水力電気(株)設立〔小田急電鉄(株)の前身のひとつ〕</p> <p>明治44年(1911)</p> <p>8・1 東京市、東京鉄道(株)を買収し、東京市電気局を設置(東京都交通局の前身)</p>	<p>6・22 武蔵電気鉄道(株)設立</p>	<p>2・8 玉川電鉄, 旅客運賃認可, 区間制1区3銭全線5区</p> <p>3・23 玉川電鉄, 軌道敷設工事着手</p> <p>3・6 玉川電鉄, 道玄坂上~三軒茶屋間開通</p> <p>4・1 玉川電鉄, 三軒茶屋~玉川間開通</p> <p>8・11 玉川電鉄, 渋谷~道玄坂上間開通により渋谷~玉川間全通(砂利業営業開始)</p> <p>5・14 玉川電鉄, 電灯業営業開始, 世田谷, 駒沢両村への電灯供給開始</p> <p>5・24 玉川電鉄, 目黒村, 渋谷村への電灯供給認可取得, 工事に着手</p> <p>9・27 玉川電鉄, 電力供給業営業開始</p>	<p>7・一 世田谷青物市場開設 この年 ・多摩川大洪水 ・各村人口, 世田谷7678, 松沢1720, 玉川6690, 駒沢6583, 千歳4047, 砧3652, 計3万0370人</p> <p>この年 ・陸軍獣医学校が麴町富士見町から世田谷村下代田に移転</p> <p>8・一 関東大洪水, 多摩川氾濫大被害</p>



一般・鉄道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>大正7年(1918) 7・22 東京市街自動車(株)に東京市内の乗合自動車事業を許可</p> <p>この年 ・第1次世界大戦終了</p> <p>大正8年(1919) 4・5 都市計画法公布(法) 4・10 地方鉄道法公布(法)(8・15施行) 4・11 道路法公布(法)(大9・4・1施行)</p> <p>大正9年(1920) 8・29 東京地下鉄道(株)設立(のちに帝都高速鉄道交通営団)</p> <p>大正10年(1921) 4・14 軌道法公布(法)(大13・1・1施行)</p> <p>大正11年(1922) 4・11 改正鉄道敷設法公布(法),従来の建設計画変更,予定線149を決定 8・15 西武鉄道(株)設立</p> <p>・この年に許可された郊外電気軌道41本・386km(第2期私鉄ブーム)</p>	<p>9・2 田園都市(株)設立</p> <p>5・11 武蔵電気鉄道常務に五島慶太就任</p> <p>7・12 東京急行電鉄の前身である目黒蒲田電鉄発起人総会</p> <p>9・2 目黒蒲田電鉄(株)創立(資本金350万円,社長竹田政智)本社東京府京橋区南伝馬町3-5,第一相互館内</p> <p>9・19 目蒲電鉄,田園都市(株)より大井町~調布村間,碑衾村~大崎町間,武蔵電気鉄道(株)より調布村~蒲田間の鉄道敷設権譲受け</p> <p>10・2 目蒲電鉄,専務に五島慶太就任</p>	<p>3・27 玉川電鉄,駒沢~用賀間複線開通</p> <p>9・3 玉川電鉄,軌道拡幅工事完成(単線運転開始)</p> <p>9・11 玉川電鉄,往復両線とも拡幅軌道での運転開始(三軒茶屋~駒沢間は単線)</p> <p>10・31 玉川電鉄,上馬引沢~駒沢間複線工事しゅん工</p> <p>12・26 玉川電鉄,中里停留場新設開業</p> <p>6・11 玉川電鉄,天現寺線,中目黒線の一部,渋谷~恵比寿駅間開通</p> <p>7・一 玉川電鉄,玉川第2遊園地(現二子玉川園)開園</p>	<p>この年 ・わが国最初の会社経営による水道である玉川水道(株)が営業開始 ・明治43年の水害をもとに計画された多摩川改修工事が下流からはじまる</p> <p>10・一 第1回国勢調査 各村人口,世田谷1万3054,松沢2656,玉川7379,駒沢8684,千歳4287,砧3680,計3万9740人</p> <p>この年 ・太子堂の府営住宅団地完成</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>大正12年(1923)</p> <p>5・1 小田原急行鉄道(株)設立</p> <p>9・1 午前11時58分関東大地震発生</p>	<p>3・10 目黒線目黒～丸子間開通</p> <p>11・1 蒲田線丸子～蒲田間開業により目黒～蒲田間全通(目蒲線と呼称)</p>	<p>2・18 玉川電鉄, 軌道複線化工事, 三軒茶屋～上馬引沢間完成により渋谷～玉川間全線複線化実現</p> <p>10・21 玉川電鉄, 火力発電所復旧</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砧線しゅん工</li> </ul>	<p>4・一 世田谷村が町制をしき世田谷町となる</p>
<p>大正13年(1924)</p>	<p>1・8 田園都市(株)は大岡山の土地9万1000坪を東京高等工業学校(現東京工業大学)へ交換譲渡</p> <p>7・24 奥沢(のちに大岡山に変更)～瀬田河原(二子玉川)間鉄道敷設免許申請</p> <p>10・7 武蔵電気鉄道(株)を傘下に収める(目蒲電鉄役員が役員兼任, 常務五島慶太)</p> <p>10・25 武蔵電気鉄道(株)は商号を東京横浜電鉄(株)と変更, 本社を目蒲電鉄本社に移転して同居</p> <p>(12・23 五島慶太専務に就任)</p>	<p>3・1 玉川電鉄砧線, 玉川～砧間開通</p> <p>5・21 玉川電鉄, 渋谷橋～天現寺橋間開通により天現寺線, 渋谷～天現寺橋間全通</p> <p>12・一 玉川電鉄, 真中・弦巻両停留場新設</p>	<p>3・27 渋谷道玄坂に「百軒店」出現</p>
<p>大正14年(1925)</p> <p>11・1 神田～上野間の高架線開通により山の手線の環状運転開始</p>	<p>8・30 東横電鉄, 神奈川線多摩川橋梁完成</p> <p>12・23 多摩川園開園</p> <p>12・25 目蒲電鉄監査役に小林一三就任</p>	<p>1・18 玉川電鉄, 三軒茶屋～世田谷間開通</p> <p>5・1 玉川電鉄, 世田谷～下高井戸間開通</p> <p>6・一 玉川電鉄, 玉川プールを開場</p>	<p>3・一 曹洞宗大学が駒沢大学と改称</p> <p>9・一 二子橋完成</p> <p>10・一 駒沢村が町制をしき駒沢町となる</p>
<p>大正15年(1926)</p> <p>昭和元年</p> <p>12・4 京王電気軌道は王南電気鉄道を合併して, 新宿～東八王子間一元化</p>	<p>2・14 東横電鉄, 丸子多摩川～神奈川間開通</p> <p>3・28 東横電鉄, 神奈川線開通式を日吉台で挙</p> <p>7・18 大井町線大井町～洗足間着工</p> <p>9・1 大井町線工事方法一部変更認可, 大井町～洗足間を大井町～大岡山間に変更</p>	<p>6・10 玉川電鉄, 乗合自動車業営業許可申請(昭2・7・2許可)</p>	

一般・鉄道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>昭和2年(1927)</p> <p>3・31 電気事業法改正公布(法)(9・1施行)</p> <p>4・1 小田急線新宿～小田原間開通</p> <p>12・30 東京地下鉄道(株)浅草～上野間開業(日本最初の地下鉄)</p>	<p>7・6 大井町線大井町～大岡山間開通</p> <p>8・28 東横電鉄, 渋谷～丸子多摩川間開通, 神奈川線と合わせて東横線と呼称</p>	<p>3・29 玉川電鉄, 恵比寿駅前～中目黒間開通により中目黒線, 渋谷橋～中目黒間全通</p> <p>7・15 玉川電鉄, 二子橋の完成により玉川～溝ノ口間開通(溝ノ口線)</p> <p>12・16 玉川電鉄, 乗合自動車営業開始</p>	<p>8・一 関東大震災後の復興計画に対応する東京周辺の都市計画, 道路網計画を決定</p>
<p>昭和3年(1928)</p> <p>11・6 鉄道省官制改正公布(勅)(陸運の監督権を通信省から鉄道省に移管)</p>	<p>5・5 目黒蒲田電鉄, 田園都市(株)を合併(5・7 代表取締役(五島慶太就任))</p> <p>5・18 東横電鉄, 神奈川～横浜(現高島町)間開通</p> <p>5・23 目蒲電鉄取締役(小林一三)監査役に(渋谷秀雄就任)</p> <p>9・6 二子玉川線大岡山～二子玉川間工事着手</p> <p>10・15 東横電鉄, 横浜駅を新設</p>	<p>9・5 玉川電鉄乗合自動車, 午前11時までの制限つきで道玄坂上～宮益坂まで運転開始, 渋谷駅と連絡</p> <p>・この年上期の玉川電鉄乗合自動車営業成績, 乗客数21万人, 運賃収入2万5000円, 日収153円 ちなみに軌道業の客車収入は6万3000円</p>	<p>この年</p> <p>・多摩川大増水, この頃から砂利採取により河床低下する</p>
<p>昭和4年(1929)</p> <p>4・1 小田原急行, 大野～片瀬江ノ島間開通</p> <p>この年</p> <p>・産業合理化政策本格的にはじまる</p>	<p>6・25 目蒲電鉄乗合自動車営業開始</p> <p>11・1 二子玉川線自由ヶ丘～二子玉川間開通</p> <p>12・25 二子玉川線大岡山～自由ヶ丘間開通により大井町～二子玉川間全通開業(全線を大井町線と呼称)</p>	<p>11・15 玉川電鉄乗合自動車, 渋谷～玉川間営業開始</p>	<p>3・一 国士館が国士館専門学校(第2次大戦後大学となる)として設立</p>
<p>昭和5年(1930)</p> <p>1・1 東京地下鉄道上野～万世橋間開通</p>			<p>この年</p> <p>・陸軍衛戩材料廠, 芝白金から用賀に移転</p>
<p>昭和6年(1931)</p> <p>4・2 改正電気事業法公布(法)(電力業の国家統制強化)</p> <p>11・30 東京地下鉄道万世橋～神田間開通</p>	<p>1・1 目蒲線丸子多摩川が「多摩川園前」と改称</p> <p>6・1 玉川ゴルフコース開場(昭7・11・1等々力ゴルフコースと商号を変更)</p>		

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>昭和7年(1932)</p> <p>1・28 上海事変ぼっ発</p> <p>4・29 東京地下鉄道神田～三越間開通</p> <p>12・24 東京地下鉄道三越前～京橋間開通</p>	<p>3・31 東横電鉄, 高島町～桜木町間開通により渋谷～桜木町間全通</p> <p>5・1 駒沢ゴルフコース開場</p>	<p>10・一 玉川電鉄は現在の東急百貨店ブルー館(渋谷)の場所にあった建物を改築して(株)二幸と契約, 食料品販売と食堂に賃貸した(玉電食堂)</p>	<p>4・一 現都立大学の前身である東京府立高等学校が衾町に移転開校</p> <p>10・1 東京市は周辺5郡82ヶ町村を合併して大東京市を形成(世田谷区誕生)</p>
<p>昭和8年(1933)</p> <p>5・3 大阪市営高速鉄道(地下鉄)梅田～心斎橋間開業</p> <p>8・1 帝都電鉄渋谷～井ノ頭公園間開通</p> <p>8・一 関東地方初の大防空演習</p>	<p>4・1 東横電鉄は百貨店部新設</p> <p>7・10 池上電気鉄道を傘下に収める, 専務に五島慶太就任</p>		<p>1・一 世田谷, 多聞両小学校開校</p> <p>この年 ・皇太子御生誕記念事業として馬事公苑設立準備会発足</p>
<p>昭和9年(1934)</p> <p>3・3 東京地下鉄道京橋～銀座間開通</p> <p>6・21 東京地下鉄道銀座～新橋間開通</p> <p>9・5 東京高速鉄道(株)設立</p>	<p>10・1 池上電気鉄道(株)を合併</p> <p>11・1 東横電鉄は東横百貨店を開業</p>		<p>2・13 内務省は多摩川の砂利採取を禁止</p> <p>4・21 渋谷駅前に忠犬「ハチ公」銅像建立</p>
<p>昭和10年(1935)</p> <p>2・一 東京高速鉄道渋谷～新橋間工事施行認可申請(9・一認可, 10・18着工するが一時中断)</p>	<p>11・1 池上線雪ヶ谷大塚～新奥沢間運輸営業廃止</p>	<p>・この年下期, 玉川電鉄乗合自動車業, 日収1000円を記録</p>	<p>4・一 青山師範学校が下馬に移転(昭18, 第1師範学校と改称, 現学芸大学の前身)</p>
<p>昭和11年(1936)</p> <p>3・15 電力国家管理に関する内閣調査室案, 試案のまま非公式に新聞に掲載</p> <p>10・20 閣議, 電力国家管理要綱を決定</p>	<p>10・30 田園誌売スタンド(現田園コロシアム)開場</p> <p>11・1 東横電鉄は東横乗合を合併</p> <p>11・29 目蒲電鉄取締役小林一三辞任</p>	<p>10・13 東京横浜電鉄は玉川電気鉄道を傘下に収める</p> <p>10・22 玉川電鉄, 役員全員辞任, 社長に五島慶太就任</p>	<p>9・一 世田谷高等小学校(現三軒茶屋小学校の校舎)開校</p> <p>10・1 北多摩郡千歳, 砧両村が世田谷区に編入(現在の世田谷区の区域定まる)</p>
<p>昭和12年(1937)</p> <p>8・14 百貨店法公布(法)(10・1施行)</p>	<p>2・26 目蒲電鉄本社事務所を渋谷区大和田町1に移転</p> <p>12・1 目蒲電鉄は目黒自動車運輸(株), 芝浦乗合自動車を合併</p>	<p>・この年下期, 玉川電鉄乗合自動車業路線, 全長67.7km</p>	<p>4・1 高津, 溝ノ口の両地区川崎市に編入</p>

一般・鉄道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>昭和13年(1938)</p> <p>4・2 陸上交通事業調整法公布(法)(8・1施行)</p> <p>6・14 東京高速鉄道渋谷～新橋間工事施行再認可</p> <p>11・18 東京高速鉄道虎の門～青山6丁目間開通</p> <p>12・20 東京高速鉄道渋谷～青山6丁目間開通</p>	<p>4・1 東横電鉄は玉川電鉄を合併(以後玉川電車は東横電鉄玉川線となる)</p> <p>10・28 東横電鉄は東横運輸を設立</p> <p>11・1 東横電鉄は旧玉川電鉄所屬の天現寺線, 中目黒線を東京市に委託</p> <p>12・20 玉電ビル3階に東京高速鉄道乗入れ</p>		<p>7・一 オリンピック東京大会開催延期を決定</p>
<p>昭和14年(1939)</p> <p>1・15 東京高速鉄道虎の門～新橋間開通により, 渋谷～新橋間全通開業(9・16渋谷～浅草間直通運転開始)</p> <p>4・1 日本発送電(株)設立</p>	<p>4・21 五島慶太, 湘南電気鉄道専務に就任</p> <p>6・27 五島慶太, 京浜電気鉄道専務に就任</p> <p>10・1 目黒蒲田電鉄は東京横浜電鉄を合併</p> <p>10・15 五島慶太, 小田原急行鉄道取締役就任</p> <p>10・16 目黒蒲田電鉄は商号を東京横浜電鉄(株)と変更</p>	<p>3・10 玉川線二子玉川駅を「よみうり遊園」と改称</p> <p>6・1 玉川線, 玉電ビル2階に乗入れ</p> <p>9・20 玉電ビル, 帝都電鉄線(現井ノ頭線)との連絡橋開設</p>	<p>9・29 馬事公苑開苑</p> <p>11・一 世田谷区役所所在地にしゅん工</p>
<p>昭和15年(1940)</p> <p>7・一 省線渋谷駅, 島式ホームを相対式に改造</p>	<p>3・30 東横車輛工事(株)[現東横車輛工業(株)]設立</p> <p>8・一 五島慶太, 鉄道軌道連合会会長に就任</p>	<p>6・23 玉電ビルと省線渋谷駅ホームとの連絡口完成</p> <p>12・1 大井町線二子玉川, 玉川線よみうり遊園を統合して「二子読売園」駅と改称</p> <p>・この頃, 玉川線渋谷～二子玉川間所要時間26分30秒</p>	<p>3・一 砧緑地, 紀元2600年を記念して事業決定</p>
<p>昭和16年(1941)</p> <p>3・7 帝都高速度交通営団法公布(法)(7・4営団設立, 9・1東京地下鉄道, 京浜地下鉄道, 東京高速鉄道を合併して営業開始)</p> <p>7・15 鉄道相, 東京市営, 地下鉄各社の地下鉄道を帝都高速度交通営団に, 9社の路面電車, バス路線を東京市へ譲渡するよう命令</p>	<p>3・10 静岡電気鉄道(株)を傘下に収める</p> <p>6・30 相模鉄道(株)(現国鉄相模線)を傘下に収める, 五島慶太社長に就任</p> <p>7・3 五島慶太, 帝都高速度交通営団理事に就任</p> <p>9・20 五島慶太, 小田急電鉄社長に就任</p> <p>11・25 五島慶太, 京浜電鉄社長に就任</p>	<p>12・20 臨時上通り停留場設置, 道玄坂上, 大坂上ほか計6停留場休止</p>	<p>4・一 京西小学校の二子玉川分教場(二子玉川小学校の前身)開校</p> <p>10・一 第5回国勢調査 世田谷区内世帯数5万8061戸, 総人口28万1804人</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和17年(1942)</p> <p>4・1 配電統制令に基づく9配電会社〔北海道・東北・関東・中部・北陸・関西・中国・四国・九州の各配電(株)〕開業</p> <p>昭和18年(1943)</p> <p>4・1 政府、陸運の監督行政を鉄道大臣に統合</p> <p>5・1 鉄道省、宇部鉄道(株)、小倉鉄道(株)を買収(この年、地方鉄道11社線を買収)</p> <p>10・1 京阪神急行電鉄(株)設立(京阪電鉄、阪神急行電鉄の合併)</p> <p>昭和19年(1944)</p> <p>1・1 防空法による建造物の疎開命令発令</p> <p>4・1 運輸通信省、南武鉄道、青梅電鉄、奥多摩電鉄を買収(この年、地方鉄道10社線を買収)</p> <p>昭和20年(1945)</p> <p>5・19 運輸通信省を廃止し、運輸省を設置する旨公布(勅)、通信院官制公布(勅)</p> <p>8・15 戦争終結の詔書を放送</p> <p>9・8 GHQ、米軍第3鉄道輸送司令部が鉄道輸送業務に当たると発表</p>	<p>4・1 配電統制令に基づき電灯電力供給業設備を開東配電に現物出資</p> <p>5・1 東京横浜電鉄は京浜電気鉄道(株)、小田急電鉄(株)を合併、商号を東京急行電鉄(株)に変更</p> <p>7・1 大井町線二子読売園から溝ノ口まで乗入れ</p> <p>11・17 五島慶太、内閣顧問に就任</p> <p>この年</p> <p>・軌道業は年間旅客総輸送人員5168万7646人、年間総旅客収入推定約500万円と戦前最高を記録</p> <p>2・19 五島慶太、運輸通信大臣に就任(社長辞任)</p> <p>5・31 京王電気軌道(株)を合併</p> <p>7・18 五島慶太、運輸通信大臣辞任</p> <p>8・7 砧線、京王線全線大井町線(二子読売園～溝ノ口間)各軌道の地方鉄道への変更を申請</p> <p>12・28 五島慶太、取締役会長に就任</p> <p>1・7 川崎大師線延長線川崎大師～桜本間全通</p> <p>3・14 営業局を廃止、管理部制実施</p> <p>6・4 本社事務所を渋谷区上通り2-55東横百貨店内に置く</p> <p>6・6 東横百貨店戦災復旧、地下売場から営業再開</p> <p>8・15 砧線、大井町線の一部(二子玉川～溝ノ口間)、京王線は地方鉄道として認可される</p> <p>12・10 東京急行従業員組合結成</p>	<p>7・1 玉川線に半鋼製ボギー電動客車デハ70形3両新造</p> <p>12・16 戦時下の重点輸送という見地から玉川線の道玄坂上、大坂上など4停留場を廃止</p> <p>7・1 玉川線宮ノ坂、中耕地、大蔵などの停留場の営業休止</p> <p>10・20 二子読売園駅を「二子玉川」と改称</p> <p>この年</p> <p>・12月末現在の玉川線所属車両電動客車6形式56両とデハ3031形1両計57両</p> <p>10・1 弦巻国民学校開校</p> <p>7・1 東京都制実施</p> <p>2・1 22日現在の世田谷区内総人口30万3473人</p> <p>11・28 B29世田谷初空襲</p> <p>4・4 川崎大空襲</p> <p>4・1 都内水道のうち会社経営であったもの全部を東京都水道局に併合</p> <p>5・24/25 東京大空襲、残存していた東京市街の大部分焼失</p>

一般・鉄道	社 内・玉 川 線		沿 線 小 史
<p>昭和21年(1946)</p> <p>7・6 政府,「日本国」と国名を改称</p> <p>12・7 戦災復興院告示第252号で3号線目黒区上目黒7丁目～浅草区雷門2丁目間が都市計画事業決定(銀座線車庫を大橋附近につくるため)</p> <p>昭和22年(1947年)</p> <p>4・一 6・3制実施により国民学校は小学校と改称,新制中学創設される</p> <p>5・3 日本国憲法施行</p> <p>5・19 経営者団体連合会創立,のちに日本経営者団体連盟(日経連)と改称</p> <p>12・16 道路運送法公布(法)(昭23・1・1大部分施行)</p> <p>昭和23年(1948)</p> <p>8・12 私鉄経営者連盟を解散し,私鉄経営者協会発足</p> <p>12・18 GHQ,米国務省・陸軍省共同声明でマッカーサーへ対日自立復興の9原則実施を指令と発表(経済安定9原則)</p>	<p>1・8 定年制を実施(満55歳)</p> <p>2・10 労働組合は東京急行労働組合と東京急行従業員組合に分裂</p> <p>4・23 労働組合は合同して東急労働組合となる</p> <p>8・1 管理部制廃止,支社制実施</p> <p>9・10 経済再建委員会設置</p> <p>12・28 労働協約締結</p> <p>5・5 常勤取締役会で当社の分離分割問題の研究が経済再建委員にゆだねられる</p> <p>6・25 東京都との協定により乗合バスの都内相互乗入れ開始</p> <p>8・一 五島慶太,公職追放の指定を受ける</p> <p>9・5 東横百貨店3・4階戦災復旧</p> <p>1・4 臨時会社再建委員会を設置</p> <p>5・1 会社再編成により百貨店業を東横興業に譲渡</p> <p>5・6 財団法人東急弘潤会設立</p> <p>5・29 京王帝都電鉄,小田急電鉄,京浜急行電鉄各創立総会</p> <p>6・1 東横興業は東横百貨店と商号を変更</p> <p>6・1 会社再編成により京王帝都電鉄(株),小田急電鉄(株),京浜急行電鉄(株)を設立,事業の一部をそれぞれに譲渡</p> <p>8・11 本社事務所を東横百貨店6・7階に移転</p> <p>8・23 (株)東急横浜製作所〔現東急車輛製造(株)〕設立</p>	<p>この年 ・玉川線輸送力増強のため対策委員会設置</p> <p>3・10 天現寺線,中目黒線を東京都に譲渡</p> <p>8・1 玉川線西太子堂,宮ノ坂両停留場の駅業務を東急弘潤会に委託</p>	<p>4・26 人口調査,世田谷区32万3909人</p> <p>10・一 玉川区設置運動おこる</p> <p>3・一 東京都35区を22区に統合(8・1板橋区より練馬区が分離して23区となる)</p> <p>9・25 キャサリン台風来襲,関東地方大水害</p> <p>10・一 臨時国勢調査 東京都人口500万0777人 世田谷区人口35万6170人 (8万9094世帯)</p> <p>1・一 砧緑地,自作農創設特別法により39万6000㎡を農地開放,当初の規模半減し,緑地の機能を失う</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和24年(1949)</p> <p>2・12 東京証券取引所設立(2・15大阪証券取引所設立)</p> <p>3・7 ドッジ公使, 経済安定9原則実行に関し声明&lt;ドッジライン&gt;</p> <p>9・15 国鉄, 東京～大阪間に特急復活(へいわ号)</p>	<p>5・16 当社株式, 東京証券取引所に上場される</p>	<p>5・1 玉川線ビューゲル車運転開始</p> <p>この年</p> <p>・玉川線三軒茶屋～二子玉川園間の専用軌道化を申請</p>
<p>昭和25年(1950)</p> <p>1・30 国鉄, 湘南電車を完成(長距離用電車の基礎をきづく)3・1東京～沼津間で使用開始</p> <p>6・25 朝鮮動乱ばっ発&lt;特需景気&gt;起こる</p> <p>7・11 日本労働組合総評議会結成</p>	<p>8・1 東横線渋谷駅第1期改良工事しゅん工(3線5面ホーム完成)</p> <p>10・2 本社社屋新築工事しゅん工, 本社を渋谷区大和田町98に移転(現渋谷区桜丘町26番20号)</p>	<p>10・16 三軒茶屋～二子玉川間併用軌道を新設軌道に変更する工事方法変更認可申請(審議未了のまま保留された)</p> <p>・この頃渋谷～二子玉川間の所要時間28分10秒</p>
<p>昭和26年(1951)</p> <p>5・1 北海道, 東北, 東京, 中部, 北陸, 関西, 四国, 九州の9電力(株)発足(日本発送電解体, 電力再編成完了)</p> <p>5・30 鉄道敷設法改正公布(法)(運輸省に鉄道建設審議会設置)</p> <p>9・8 対日「平和条約」調印(昭27・4・28発効)</p> <p>9・8 日米安全保障条約調印(昭27・4・28発効)</p>	<p>5・1 大井町線, 池上線の立体交差駅「旗の台駅」を開設</p> <p>8・6 五島慶太公職追放より復帰</p> <p>8・28 五島慶太, 相談役に就任</p> <p>10・30 東横線渋谷駅第2期改良工事しゅん工(階段拡張工事)</p> <p>11・26 玉電ビルを「東急会館」と改称</p> <p>11・20 五島慶太, 取締役役に就任</p>	<p>9・1 都内小学校に完全給食開始</p> <p>9・1 恵泉女子学園, 駒沢大, 多摩美術大, 東京農大, 昭和女子大, 日本女子体育大, 産業能率大, 武蔵工大各短期大学設立認可</p>
<p>昭和27年(1952)</p> <p>2・28 日米行政協定調印</p> <p>4・28 GHQ廃止</p> <p>6・6 道路整備特別措置法公布(法)(有料道路建設の基準法規)</p> <p>11・20 経済団体連合会の再編成終わる</p>	<p>5・6 五島慶太, 会長に就任</p> <p>7・1 バス休止路線全面復活</p> <p>10・1 東横線, 電圧を600Vから1500Vに昇圧</p> <p>10・1 東横線にオイルダンパー式新車(3800形)就役</p> <p>10・2 創立30周年記念行事を挙行(玉電ビルの復興決まる)</p>	<p>4・1 玉川線弦巻停留所を「新町」と改称</p> <p>この頃</p> <p>・玉川線渋谷～二子玉川園間所要時間30分</p> <p>11・1 世田谷代官屋敷が都旧跡に, 九品仏浄真寺カヤの木が都天然記念物に指定される</p>

一般・鉄道	社 内 ・ 玉 川 線	沿 線 小 史	
<p>昭和28年(1953)</p> <p>3・15 国鉄, 京都～博多間に特急かもめ号運転開始</p> <p>10・10 国鉄, キハ45000形液体式気動車完成(ディーゼル化の基礎となる)</p>	<p>1・10 臨時建設部新設, 部内に城西南地区開発班設置</p> <p>2・27 五島昇副社長に就任</p> <p>4・1 東横線武蔵小杉駅, 工業都市駅を統合し「武蔵小杉駅」を開設</p> <p>7・1 東急病院, 大岡山に開業</p> <p>7・22 観光バス業営業開始</p> <p>7・一 ターンバイク計画基礎調査開始</p> <p>12・12 目蒲線日黒駅改築工事しゅん工</p> <p>12・17 東急不動産(株)設立</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多摩田園都市の開発を開始</li> </ul>	<p>6・10 玉川線, 朝夕2両編成運転開始</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉川線救済のため都立大学駅～九品仏駅を結ぶ連絡線を検討(測量, 調査実施)</li> </ul>	<p>9・一 区立奥沢中学校に戦後初のプール完成</p>
<p>昭和29年(1954)</p> <p>1・20 帝都高速度交通営団, 丸の内線池袋～お茶の水間開業(戦後最初の地下鉄)</p> <p>5・20 土地区画整理法公布(法)(昭30・4・1施行)</p>	<p>1・1 田園都市業, 砂利業, 遊園業の一部を東急不動産に譲渡, 資材部, 事業部廃止</p> <p>3・27 東急不動産, 二子玉川園再開</p> <p>3・30 東急ターンバイク(渋谷～江ノ島間有料専用道路)免許申請</p> <p>4・1 池上線本線3両編成運転開始</p> <p>5・6 五島昇社長に就任</p> <p>6・26 最初の長距離バス渋谷～江ノ島間営業開始</p> <p>8・1 大井町線二子玉川駅を「二子玉川園」と改称</p> <p>8・1 大井町線等々力折返し3両編成運転を二子玉川園まで延長</p> <p>9・6 東急四谷サービスステーション開業・石油販売業開始</p> <p>10・16 東横線に超軽量高速カルダン電車5000形6両就役(昭55・3で東横線から姿を消す)</p>	<p>この頃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉川線渋谷～二子玉川園間所要時間33分15秒</li> <li>多摩田園都市の開発を開始</li> </ul>	<p>2・一 成城女子短期大学設立認可</p> <p>6・一 1日現在で世田谷区の人口は50万人を突破(50万2559人)</p> <p>7・一 玉川全圃耕地整理組合, 用賀中区耕地整理の登記完了(30年ぶりに事業を完了)</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内 ・ 玉 川 線		沿 線 小 史
<p>昭和30年(1955)</p> <p>4・14 運輸省,総合交通6ヶ年計画発表</p> <p>7・19 都市交通審議会令公布(政)(運輸省所管,地下鉄など交通網建設計画促進のため)</p>	<p>11・15 東急会館(旧玉電ビル)増改築工事しゅん工(11・20より東横百貨店西館として使用開始)</p> <p>12・23 主要駅に自動券売機設置</p> <p>4・1 東急不動産より多摩川園,二子玉川園の経営を受託</p> <p>4・1 臨時建設部廃止に伴い城西南地区開発班は企画室衛星都市建設班となる</p> <p>10・1 東横線,終日急行運転実施</p> <p>11・15 目蒲線,電圧600Vから1500Vに昇圧</p>	<p>4・1 玉川線三軒茶屋,松陰神社前,世田谷,上町,宮ノ坂,玉電中里,用賀,砧線の各停留場の駅業務を東急弘潤会に委託</p> <p>7・23 玉川線に200形連節車6編成就役</p> <p>11・7 第158回部課長会議,玉川線大橋車庫の用賀移転を決定</p>	<p>1・一 飛地整理による新町名番地実施,久地町と諏訪町が消え砧町が誕生</p> <p>3・一 昭和女子大火,隣接の戦災引揚者寮(世田谷郷)延焼</p> <p>3・一 放射4号線工事開始</p>
<p>昭和31年(1956)</p> <p>3・14 改正道路整備特別措置法・日本道路公団法各公布(法)(4・16同公団設立)</p> <p>3・20 営団地下鉄丸の内線お茶の水～淡路間開通</p> <p>4・26 首都圏整備法公布(法)首都建設法は廃止</p> <p>5・23 百貨店法公布(法)(百貨店の床面積制限など事業活動の調整)</p> <p>7・20 営団地下鉄丸の内線淡路町～東京間開通</p>	<p>1・14 白木屋を傘下に収める</p> <p>2・1 伊豆下田電気鉄道伊東～下田間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>4・1 大井町線直通列車3両編成運転実施,池上線全列車3両編成運転開始</p> <p>5・15 東急文化会館設立</p> <p>9・10 東横線高島町～桜木町間複線化工事しゅん工</p> <p>9・28 大井町線溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許申請</p> <p>10・16 衛星都市建設部新設</p> <p>11・30 東急文化会館しゅん工</p> <p>12・1 新宿東急文化会館しゅん工</p>	<p>7・一 建設を決意,第39回政策委員会は新玉川線の建設案を可決</p> <p>7・23 渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許申請(昭34・2・9免許)</p> <p>8・14 都市交通審議会,5路線答申(1号線～5号線・第1次答申)新玉川線は3号線の一部として銀座線とともに設定</p> <p>この頃</p> <p>・玉川線渋谷～二子玉川園間所要時間33分15秒</p>	<p>10・一 昭和女子大,鉄筋校舎で復旧</p> <p>この年</p> <p>・瀬田～駒沢間の行政道路測量再開,瀬田・駒沢両方より工事開始</p>
<p>昭和32年(1957)</p> <p>4・16 国土開発縦貫自動車道建設法公布(法)</p> <p>4・25 高速自動車国道法公布(法)</p> <p>11・15 名古屋市交通局,地下鉄名古屋～栄間開通</p>	<p>7・11 大井町線中延駅附近立体交差工事しゅん工</p> <p>8・10 池上線,電圧600Vを1500Vに昇圧</p> <p>10・1 東横線急行列車全運用4両編成運転開始</p>	<p>5・14 運輸審議会,免許申請に関する聴問会を開催,平穩裡に終る</p> <p>7・一 世田谷区議会交通対策特別委員会は関係各庁,都知事,都議会および当社に対し,放射4号</p>	<p>3・26 都電渋谷駅終点を東急文化会館前に移転</p> <p>4・1 砧緑地公園,正式に開園</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>12・15 営団地下鉄丸の内線東京～西銀座間開通</p> <p>昭和33年(1958)</p> <p>3・9 日本道路公団, 関門国道トンネル開通式</p> <p>3・31 道路整備緊急措置法公布(法)</p> <p>8・18 都営無軌条電車池袋駅前～浅草駅間開通</p> <p>10・15 営団地下鉄丸の内線西銀座～霞ヶ関間開通</p>	<p>11・14 大井町線溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許を溝ノ口～中央林間間に変更申請</p> <p>11・29 渋谷地下街しゅん工</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年初までに城西南地区(田園都市)開発計画500万坪中約100万坪の土地買収完了</li> </ul> <p>1・15 大井町線, 電圧600Vを1500Vに昇圧し, 全線の昇圧完了</p> <p>2・15 玉川線世田谷停留場駅業務廃止</p> <p>7・21 東京ヒルトンホテル(株)設立</p> <p>8・1 (株)白木屋は(株)東横百貨店を合併</p> <p>9・18 白木屋は商号を(株)東横に変更</p> <p>12・1 東横線にセミステンレスカー5200形3両就役</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軌道業は年間旅客総輸送人員6456万7797人と戦後最高を記録</li> </ul>	<p>拡幅と玉川線地下鉄化に関して要請</p>	
<p>昭和34年(1959)</p> <p>3・15 営団地下鉄丸の内線霞ヶ関～新宿間開通</p> <p>4・14 首都高速道路公団法公布(法)(6・17同公団設立)</p> <p>6・10 東京高速道路新橋～鍛冶橋間開通</p>	<p>2・9 伊東下田電鉄伊東～下田間地方鉄道敷設免許</p> <p>4・11 伊東下田電気鉄道(株)[現伊豆急行(株)]設立</p> <p>6・1 東横線急行列車5両編成運転開始</p> <p>6・30 野川第1土地区画整理事業起工式</p> <p>7・23 伊東下田電鉄, 工事施行認可申請を名古屋陸運局に提出(昭34・12・24認可)</p> <p>8・14 会長五島慶太死去</p> <p>11・11 東急建設(株)設立</p> <p>11・27 相談役に石坂泰三, 小林中, 水野成夫就任</p>	<p>1・22 運輸審議会, 渋谷～二子玉川園間の地方鉄道敷設は免許が適当と運輸大臣に答申</p> <p>2・9 渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許(通達付)</p> <p>2・20 建設部設置(調査, 測量開始)</p> <p>7・1 建設部用地課設置(第1次用地買収開始)</p> <p>9・8 渋谷, 目黒, 世田谷区議会に対し工事施行認可申請(蛇崩案)につき説明会</p> <p>10・1 建設委員会設置</p>	<p>9・1 台風22号来襲, 世田谷区の被害家屋流失・全半壊18戸, 床上浸水5600世帯, 床下浸水6076世帯, 橋梁流失11, 罹災者4万5317人災害救助法適用</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和35年(1960)</p> <p>7・25 東海道幹線自動車国道建設法公布(法)〈東名高速道路〉</p> <p>12・4 都営地下鉄押上～浅草橋間開通,京成電鉄と相互乗入れ開始(地下鉄と郊外電鉄の相互乗入れの最初)</p>	<p>1・22 伊東～下田間鉄道敷設工事着手</p> <p>4・1 東横線にステンレスカー6000形車両就役</p> <p>4・10 高島町変電所送電開始(無人1号)</p> <p>4・18 五島美術館開館</p> <p>5・8 銀座東急ホテル開業</p> <p>9・20 大井町線溝ノ口～中央林間間地方鉄道敷設免許取得</p>	<p>10・13 世田谷区議会交通対策特別委員会主催の新玉川線建設公聴懇談会</p> <p>2・5 工事施行認可申請につき世田谷区議会議長から社長あて口頭の要請</p> <p>2・5 世田谷区議会交通対策特別委員会にて報告会,当社側意向を了承</p> <p>2・6 渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設工事施行認可申請,特別設計許可申請</p>	<p>6・一 用賀,南台,石仏の3公園,都から区に移管</p> <p>10・一 国勢調査,世田谷区人口65万2883人(18万2747世帯)</p>
<p>昭和36年(1961)</p> <p>2・8 営団地下鉄荻窪線新宿～新中野間,中野坂上～中野富士見町間開通</p> <p>3・28 営団地下鉄日比谷線南千住～仲御徒町間開通</p> <p>11・1 営団地下鉄荻窪線新中野～南阿佐ヶ谷間開通</p>	<p>2・1 砧砧停留場を「砧本村」と改称</p> <p>2・20 伊東下田電気鉄道(株)は商号を伊豆急行(株)に変更</p> <p>3・1 東急エージェンシー設立</p> <p>3・31 富士航空(株)を傘下に収め航空事業に進出</p> <p>7・1 渋谷～長野間長距離バス路線運転開始</p> <p>9・14 東横線都立大学駅附近立体交差工事しゅん工</p> <p>12・10 伊豆急行伊東～下田間開通</p> <p>・この年度より軌道業営業収支赤字</p>	<p>8・15 昭35・2・6申請の地方鉄道敷設工事施行認可,特別設計許可(営団との乗入れ協定不備につき渋谷起点～同0.7キロ間除外)</p>	<p>8・一 多摩川二子橋下流でアユ,コイなど多数浮く</p> <p>この年</p> <p>・駒沢・新町～瀬田間の駒沢バイパス直線化の修正工事を完了,交通開放される</p>
<p>昭和37年(1962)</p> <p>1・23 営団地下鉄荻窪線南阿佐ヶ谷～荻窪間開通により新宿～荻窪間全通</p> <p>3・23 営団地下鉄荻窪分岐線中野富士見町～方南町開通により中野坂上～方南町間全通</p> <p>3・30 日本道路公団,箱根新道開通</p>	<p>1・27 東横線にオールステンレスカー7000形就役</p> <p>3・20 野川第1土地区画整理事業完成</p> <p>3・27 横浜東急ホテル開業</p> <p>6・8 都市交通審議会は第1次答申の5路線に代えて10路線の設定を答申(6号線の設定を含む)</p>	<p>7・7 第1期工事着手(着手届は7・10日付)測量,用地作業開始(蛇崩ルート)</p>	<p>2・一 東京都の常住人口,推計で1000万人突破(世界最初)</p> <p>6・一 放射4号道路渋谷～駒沢・新町間拡幅工事玉川線大橋車庫附近より着工</p> <p>7・一 環状7号線の用地買収終わり工事急速にすすむ</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>5・31 都営地下鉄1号線 浅草橋～東日本橋間開通 5・31 営団地下鉄日比谷 線北千住～南千住間、仲 御徒町～人形町間開通 9・30 都営地下鉄1号線 東日本橋～人形町間開通</p>	<p>8・29 建設省告示第2187 号，6・8都市交通審議 会答申10路線のうち8， 9号線を除く8路線を都 市計画事業決定 9・18 大井町線溝ノ口～ 長津田間分割工事施行認 可申請 10・8 下田東急ホテル開 業</p>		<p>8・一 放射4号道路拡幅 による三軒茶屋商店街立 退き問題解決</p>
<p>昭和38年(1963)</p>	<p>この年 ・東急くろがね工業倒産 (会社更生法適用により 更生)</p>		
<p>2・28 都営地下鉄1号線 人形町～東銀座間開通 2・28 営団地下鉄日比谷 線人形町～東銀座間開通 7・11 新住宅市街地開発 法公布(法) 7・15 名神高速道路尼崎 ～栗東間開業(昭40・7 ・1全線開業) 12・12 都営地下鉄1号線 東銀座～新橋間開通</p>	<p>5・15 大井町線溝ノ口～ 長津田間分割工事施行認 可 6・20 東京ヒルトンホテル開業 10・11 多摩川西南新都市 を多摩田園都市と改称 10・11 大井町線を田園都 市線と改称 10・11 田園都市線溝ノ口 ～長津田間建設工事着手 12・1 田園都市線、池上 線に車内警報装置設置</p>	<p>2・一 大坂橋橋台下補強 工事(先行工事)着手(昭 38・12終了) 4・27 線路および工事方 法変更認可申請(上通り ～三軒茶屋間を放射4号 線道路下に変更) 7・一 目黒川橋台下補強 工事(先行工事)着手(昭 39・1終了) 9・20 渋谷における営団 銀座線との連絡協定成立</p>	<p>2・一 馬事公苑，オリン ピック馬術競技場として の施設整備工事着手(昭 39・3完成) 2・一 町区域の改正と住 居表示実施作業開始 3・一 生徒急増のためプレ ハブ15教室登場 4・一 都立深沢高等学校 開校 8・一 北沢川，烏山川， 蛇崩川，香川，仙川，野 川の河川改修工事開始</p>
<p>昭和39年(1964)</p>			<p>この年 ・放射4号線渋谷～駒沢・ 新町間拡幅工事終わる</p>
<p>1・31 都市交通審議会答 申で6号線は志村より東 武大和町まで延長される 2・29 日本鉄道建設公団 法公布(法)(3・23同公 団発足) 3・25 営団地下鉄日比谷 線霞ヶ関～恵比寿間開通 7・22 営団地下鉄日比谷 線恵比寿～中目黒間開通 8・29 営団地下鉄日比谷 線東銀座～霞ヶ関間開通 により北千住～中目黒間 全通 9・17 東京モノレール (株)，浜松町～羽田間開 通(初の営業モノレール)</p>	<p>2・1 衛星都市建設部は 田園都市建設部と改称 4・1 東横線急行列車6 両編成運転開始 4・1 田園都市線平日朝 間大井町～二子玉川間折 返し列車5運用を4両編 成運転実施 4・10 地下鉄6号線泉岳 寺～桐ヶ谷間地方鉄道敷 設免許申請(昭39・12・ 18免許，昭43・9・24免 許返納) 4・15 日本国内航空(株) 発足 4・16 東横線渋谷駅改良 工事しゅん工(4線7ホ ーム，中央改札口新設)</p>	<p>2・20 渋谷シールド工事 を熊谷組と契約 2・26 起工式を用賀にお いて挙行 4・16 渋谷シールド堅坑 工事着手 12・一 二子玉川園附近高 架橋工事着手(昭41・3 終了)</p>	<p>1・一 北沢1～5丁目， 代沢1～5丁目誕生(世田 谷区内最初の住居表示) 2・一 馬事公苑にオリン ピック競技施設として覆 (おおい)馬場完成 5・一 世田谷通り改修完 成 7・一 環状6・7号線道 路など五輪道路完成 7・一 都立駒沢オリンピ ック公園完成 12・22 渋谷再開発促進協 議会発足(のち渋谷再開 発協会と改称) 12・一 世田谷ボロ市廃止 と決定(翌年1月復活)</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>10・1 国鉄,東海道新幹線開業(東京～新大阪間)</p> <p>10・1 都営地下鉄1号線新橋～大門間開通</p> <p>10・5 国鉄バス,名神高速線名古屋～神戸間開業</p> <p>12・23 営団地下鉄東西線高田馬場～九段下間開通</p> <p>この年</p> <p>・10月東京オリンピック開催</p>	<p>4・22 玉川線輸送力増強対策として,デハ 151, 152, 4・24に153, 154の4両就役</p> <p>6・一 田園都市線上野毛～高津間改良工事着手</p> <p>6・一 東横百貨店池袋店を東武鉄道に譲渡引渡し</p> <p>7・1 田園都市線折返し列車全運用を4両編成運転実施</p> <p>8・22 羽田東急ホテル開業</p> <p>8・29 東横線,営団地下鉄日比谷線,東武鉄道との相互乗入れ直通運転開始(日吉～北千住間)</p> <p>9・21 田園都市線旗の台～北千東間立体交差工事しゅん工</p> <p>11・25 田園調布1号踏切道立体交差工事しゅん工</p>		
<p>昭和40年(1965)</p> <p>5・28 九州横断自動車道建設法公布(法)長崎～大分間</p> <p>6・11 中国横断自動車道建設法公布(法)岡山～境港間</p> <p>11・10 日本原子力発電(株)東海発電所,初の営業発電に成功</p>	<p>2・15 東京都交通局より地下鉄1号線工事は6号線との同時施行によらず単独施工とする旨当社あてに通告</p> <p>3・25 恩田第1土地区画整理事業完成</p> <p>4・1 田園都市線本線列車4両編成運転実施</p> <p>6・1 事業本部制を実施,鉄道,自動車,開発の3事業本部設置</p> <p>6・13 渋谷東急ビル完成</p> <p>7・23 箱根ターンパイク有料自動車道営業開始</p>		<p>4・一 羽根木,世田谷,玉川野毛の都立公園,都道85路線など世田谷区に移管</p> <p>5・一 1日現在で世田谷区人口70万人を突破</p> <p>11・一 国立小児病院開設</p> <p>12・一 第3京浜道路開通</p>
<p>昭和41年(1966)</p> <p>3・16 営団地下鉄東西線中野～高田馬場,九段下～竹橋間開通</p> <p>6・一 都営地下鉄1号線桐ヶ谷～泉岳寺間工事着手</p> <p>7・30 首都高速道路3号線(2期)工事都市計画事業に決定(渋谷～用賀間7.9kmの延長建設)</p>	<p>1・21 恩田第4土地区画整理事業起工</p> <p>3・18 田園都市線上野毛～高津間改良工事により,二子玉川園および二子新地前の両駅は高架駅となる</p> <p>3・18 田園都市線二子専用鉄橋完成</p>	<p>7・一 都市交通審議会横浜部会,田園都市線の都心直通経路を別途検討することに決定</p> <p>この年</p> <p>・新設された建設部が主体となり,運輸省大臣官房,東京都交通課ほか都市高速鉄道網設定に係る省庁に,新路線設定についての陳情を開始</p>	<p>4・一 区立塚戸幼稚園開設(区立幼稚園第1号)</p> <p>5・一 砧ファミリーパーク開園(砧ゴルフ場跡)</p> <p>7・一 砧緑地,東名高速道路用地として3万8510㎡を道路公団に売却</p> <p>12・一 環状8号線,玉川通り～世田谷通り間2.1km完成開通</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>10・1 営団地下鉄東西線 竹橋～大手町間開業</p> <p>昭和42年(1967)</p> <p>6・28 私鉄経営者協会は 日本民営鉄道協会と改称</p> <p>9・2 首都高速3号線千 代田区車町～渋谷間開通</p> <p>9・14 営団地下鉄東西線 大手町～東陽町間開通</p> <p>12・9 都電銀座線など11 系統廃止</p>	<p>3・24 東横線、目蒲線と 環状8号道路との立体交 差工事しゅん工</p> <p>4・1 田園都市線延長線 溝の口～長津田間開通</p> <p>9・17 田園都市線長津田 ～中央林間間分割工事施 行認可申請(昭42・4・ 1認可)</p> <p>9・一 乗合バス全車両ワ ンマンカーとなる</p> <p>12・1 箱根ターンバイク は東急ターンバイクと商 号変更</p> <p>12・7 有馬第1土地区画 整理事業完成</p> <p>12・25 本社は屋第4期増 築工事しゅん工</p> <p>3・27 田園都市線にオー ルステンレスカー7200形、 7500形就役</p> <p>4・28 こどもの国線長津 田～こどもの国間開通</p> <p>5・24 恩田第2土地区画 整理事業完成</p> <p>6・1 玉川線渋谷駅降車 口改札を廃止し、乗車チ ェック方式採用</p> <p>8・15 東名急行バス設立 (当社ほか11社が出資)</p> <p>8・22 目蒲線と環状7号 道路との立体交差工事し ゅん工</p> <p>9・29 東横百貨店は(株) 東急百貨店と商号変更</p> <p>11・1 東急百貨店本店開 店</p> <p>12・25 高速3号線經由高 速通勤バス(桜新町～東 京駅丸の内南口間)運行 開始</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月末、渋谷東横新館 (現東急渋谷店)落成</li> <li>・年初、多摩田園都市区画 整理事業約650万坪のう ち350万坪を完成もしくは 着工</li> </ul>	<p>8・9 バス代行の可能性、 軌道の地下化などについ て当社、建設省、東京都、 首都高速道路公団の4者 間打合わせ</p> <p>8・17 路面電車の処理に ついて首都高速道路公団 と打合わせ</p> <p>11・17 首都圏整備委員会、 新玉川線蛇崩案を決定</p> <p>12・22 当社取締役会は首 都高速道路公団の負担最 低額(45億円)を決定</p> <p>12・24 当社案(軌道地下 化)を取下げ</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半ばから都心相互乗入れ、 新地下鉄線建設要請を関 係方面に働きかけ、12月 には都市交通審議会に五 島社長出頭、正式公述</li> </ul>	<p>4・一 千歳小学校開校 (区立はこれで60校とな り大田区とならび都内で 最多となる)</p> <p>4・一 世田谷区総合開発 計画策定委員会「世田谷 区総合計画」を発表</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の人口、初めて転 出が転入を2万648人上 回る(近郊都市の人口増 加)</li> </ul>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和43年(1968)</p> <p>4・25 東名高速道路東京～厚木間、富士～静岡間、岡崎～小牧間開通</p> <p>6・21 都営地下鉄1号線大門～泉岳寺間開通により、京浜急行電鉄、都営地下鉄、京成電鉄相互乗入れ開始</p> <p>6・27 経済企画庁、国土総合開発構想を發表</p> <p>11・25 都営地下鉄1号線泉岳寺～西馬込間開通により西馬込～押上間全通</p> <p>12・27 都営地下鉄6号線巢鴨～高島平間開通</p>	<p>2・5 目黒駅、自由が丘駅で自動券売改札機使用開始</p> <p>3・1 東急車輛製造(株)(は帝國車輛工業(株)を合併)</p> <p>3・26 恩田第3土地区画整理事業完成</p> <p>4・1 田園都市線長津田～つくし野間開通</p> <p>4・1 東横線全線A T S (自動列車停止装置)使用開始</p> <p>6・1 (株)東急ホテルチェーン設立</p> <p>6・2 東急ファミリークラブ発足</p> <p>6・21 高速2号線經由高速通勤バス(等々力～東京駅丸の内南口間)運行開始</p> <p>7・3 市ヶ尾第1土地区画整理事業完成</p> <p>9・24 6号線桐ヶ谷～泉岳寺間の免許返納</p> <p>9・25 下谷本第2土地区画整理事業完成</p> <p>10・1 田園都市線全線4両編成運転実施、通勤快速列車運転開始</p> <p>10・24 荏田第1土地区画整理事業完成</p> <p>10・29 蒲田駅改良工事しゅん工(4線5ホーム高架駅)</p> <p>10・30 蒲田東急ビルしゅん工</p> <p>11・30 池上線と環状7号道路との立体交差工事しゅん工</p>	<p>1・5 建設省、首都高速道路公団、当社の3者により首都高速3号線(2期)と新玉川線および現玉川線との工事調整(同時施行、平面移設、蛇崩ルート)覚書交換(1・8協定締結)</p> <p>1・13 当社が世田谷区議会交通対策委員会に経過説明</p> <p>1・17 当社、首都高速道路公団と軌道平面移設覚書に基づく打合わせ</p> <p>1・29 都市交通審議会、当社の要請および他社要望なども勘案し、地下鉄新線試案發表</p> <p>2・26 世田谷区議会と区長連名でルート反対の要望書が建設大臣に提出される</p> <p>4・10 都市交通審議会は11号線(二子玉川方面～蛸殻町)を設定、6号線の桐ヶ谷～泉岳寺間は再検討の旨、10号答申</p> <p>5・21 建設省、首都高速道路公団、東京都、世田谷区、当社の5者会談で、軌道地下化の代案として軌道撤去、バス増発、新玉川線の経路変更について提案あり</p> <p>8・21 建設省都市局、同道路局、東京都、首都高速道路公団、当社の5者、新玉川線について最終決定、新覚書調印(玉川線、砧線の廃止、現玉川線の軌道下に経路変更、バス代行、同時施行など)1・5日付覚書および1・8日付協定は破棄</p> <p>10・30 東京都市計画地方審議会議決(11号線世田谷区玉川町～日本橋室町1丁目間)</p> <p>12・20 玉川線処理ならびにバス代行補償について当社と首都高速道路公団で協定締結(17億円)</p>	<p>4・1 世田谷区総合計画審議会条例公布施行</p> <p>10・1 世田谷区鎌田町、宇奈根町地区に都内初のサイクリング道路開設</p> <p>12・1 世田谷ボロ市に代官見廻り行列再現</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和44年(1969)</p> <p>3・17 中央高速道路相模湖～河口湖間開通</p> <p>3・29 営団地下鉄東西線東陽町～西船橋間開通により中野～西船橋間全通</p> <p>3・31 東名高速道路富士～御殿場、厚木～大井松田間開通</p> <p>5・26 東名高速道路大井松田～御殿場間開通により全通</p> <p>6・一 国鉄、東名ハイウェイバス開業</p> <p>12・20 営団地下鉄千代田線大手町～北千住間開通</p>	<p>1・24 運輸省民営鉄道部監理課において玉川線廃止に関連しての説明</p> <p>2・24 小川第1土地区画整理事業完成(つくし野)</p> <p>3・28 元石川第1土地区画整理事業完成</p> <p>4・1 田園都市線朝間通勤快速列車2運用を4運用に増強</p> <p>5・7 バス大橋営業所開設</p> <p>5・8 玉川線花電車運転(9/10日の両日も)</p> <p>5・10 玉川線渋谷～二子玉川園、砧線二子玉川園～砧本村間営業廃止、三軒茶屋～下高井戸間を世田谷線と呼称</p> <p>5・11 玉川線、砧線廃止による代行バス運行開始</p> <p>5・11 首都高速3号線(2期)工事着手</p> <p>6・10 東名急行バス開業</p> <p>7・10 旧玉川線渋谷駅跡にバスターミナルを建設、改築工事開始</p> <p>8・1 目蒲線全線にA T S使用開始</p> <p>9・13 赤坂東急ホテル開業</p> <p>9・18 下市ヶ尾第1土地区画整理事業完成</p> <p>10・1 田園都市線通勤快速列車1運用増加し、5運用運転実施</p> <p>10・1 田園都市線全線にA T S使用開始</p> <p>11・11 グラム東急ホテル開業</p> <p>11・30 東横線にオールステンレスカー8000形就役</p>	<p>12・28 建設省告示第3731号、11号線(世田谷区玉川1丁目～中央区日本橋室町1丁目)を都市計画決定</p> <p>2・20 「共同溝受委託に関する協定」を建設省と当社で締結</p> <p>2・28 世田谷区議会交通対策特別委員会に最終ルートならびに計画概要を説明</p> <p>2・一 開発事業本部用地課第1期工事に伴う用地買収開始</p> <p>3・3 世田谷区議、駒沢大学、地元代表が駒沢公園駅 500m 移設要望書を提出</p> <p>4・17 首都高速道路公団と「同時施行に関する協定」を締結(大橋～三軒茶屋間)</p> <p>5・7 代行バス輸送基地としての大橋営業所新設工事しゅん工</p> <p>6・2 第1期工事のための先行工事開始</p> <p>8・6 建設工事安全協議会発足</p> <p>8・一 第1期工事開始(大橋～三軒茶屋)</p> <p>10・30 「駒沢大学前」駅設置に関する関係者の調整会(世田谷区長あっせん第1回、11・11第2回、11・27第3回、12・25第4回)</p> <p>12・1 首都高速3号線建設工事と新玉川線建設工事の同時施行に要する費用の負担に関する協定調印(三軒茶屋～新町間)</p> <p>12・10 同協定の変更協議(当社→公団)</p> <p>12・一 長津田地区地元代表数名に対し、駅の改良と車庫の建設計画を説明</p>	<p>3・一 喜多見町の多摩川河川敷に児童交通公園設置</p> <p>3・一 世田谷区役所第2庁舎落成</p> <p>4・一 代沢、北沢、太子堂福祉会館開設</p> <p>4・一 都立用賀技能学園開設(身体障害者社会復帰施設)</p> <p>5・一 特別都市計画緑地地域廃止により世田谷区内の緑地地域廃止</p> <p>6・一 日本住宅公団、多摩ニュータウン起工式</p> <p>7・一 世田谷区の西南部一帯が鳥獣保護区となる</p> <p>9・一 東京都清掃局世田谷清掃工場用資に完成</p> <p>10・一 環状8号線道路などとの立体交差のため小田急線高架工事着手</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和45年(1970)</p> <p>3・15 アジアで初の日本万国博、大阪で開会</p> <p>5・13 全国新幹線鉄道整備法成立</p> <p>10・1 国勢調査(沖縄も含めて実施)総人口1億人を突破</p>	<p>1・1 本社の住居表示が渋谷区桜丘町26-20に変更</p> <p>3・1 池上線全線にATS使用開始</p> <p>3・6 梶ヶ谷第1土地区画整理事業完成</p> <p>3・23 西八朔北部土地区画整理事業完成</p> <p>3・25 大和市北部第1土地区画整理事業完成</p> <p>4・1 東横線急行列車8両編成運転開始</p> <p>5・17 旧玉川線渋谷駅跡に渋谷東急バスターミナル完成</p> <p>6・1 3事業本部制を廃止し、新たに8事業部制を新設</p> <p>7・1 各地東急ホテル合併による(株)東急ホテルチェーン発足</p> <p>9・17 CATV事業の届出が郵政省に受理される</p> <p>10・1 渋谷駅西口ビルしゅん工</p> <p>11・13 東横線中目黒~都立大学間立体交差工事しゅん工</p>	<p>1・8 東京都告示第15号(新都市計画法により変更, 11号線世田谷区玉川1丁目~日本橋本石町1丁目)</p> <p>1・9 駒沢大学代表者理事長ほか9名が行政不服審査請求書を運輸大臣あてに提出</p> <p>2・6 行政不服審査請求, 執行停止申立を却下(運輸大臣)</p> <p>2・8 行政訴訟(被告陸運局長)</p> <p>2・21 行政不服再審査請求(運輸大臣あて)</p> <p>2・一 長津田地区全地主22名を対象に車庫計画説明を行ない, 協力を要請</p> <p>3・2 認可処分の執行停止仮処分申立(被申立人陸運局長)</p> <p>3・6 行政不服審査請求却下処分に対する行政訴訟(被告運輸大臣)</p> <p>3・31 行政不服再審査請求却下(運輸大臣)</p>	<p>2・一 総合競技場の陸上競技場完成(第3種公認, 全国初の全天候式採用)</p> <p>3・一 玉川通りに初のバス専用レーン設定</p> <p>8・一 渋谷で「歩行者天国」の試み実施</p>
<p>昭和46年(1971)</p> <p>3・20 営団地下鉄千代田線大手町~霞ヶ関間開通</p> <p>4・20 営団地下鉄千代田線綾瀬~北千住間開通</p> <p>4・26 国鉄, 山手線全編成10両となる</p> <p>6・17 沖縄返還協定調印</p> <p>7・1 環境庁発足</p> <p>8・15 米大統領ニクソン, 金・ドル交換一時中止, などの政策発表&lt;ドルショック&gt;</p> <p>8・28 円の変動為替相場制実施</p> <p>10・一 私鉄各社代表者, 大都市輸送施設整備事業団設立を政府に要望</p> <p>12・1 主要幹線道路にバス優先走行線設定</p> <p>12・21 首都高速3号線渋谷~用賀間の開通により同高速道路と東名高速道路が接続</p>	<p>2・20 東横線祐天寺, 学芸大学, 桜木町の3駅で駅業務の機械化実施</p> <p>3・18 上谷本第1土地区画整理事業完成</p> <p>3・24 成合土地区画整理事業完成</p> <p>4・1 東急国際ホテル(株)が(株)東急ホテルチェーン, (株)ホテルジャパン東急を合併し, 商号を(株)東急ホテルチェーンに変更</p> <p>4・1 田園都市線快速列車5運用を7運用に増加し, 運転間隔を16分から10分に短縮</p> <p>5・15 日本国内航空(株)が東亜航空(株)を合併し, 東亜国内航空(株)として新発足</p>	<p>3・1 昭44・12・1付協定の変更につき協議(公団→当社)昭44・12・10付当社からの協議に対する回答, 3・19同変更協定書締結</p> <p>3・一 第1期工事大橋~三軒茶屋間, 三軒茶屋~新町間躯体工事(駅部, ずい道部)完了</p> <p>4・27 「駒沢大学駅」行政訴訟1審判決(原告側敗訴)</p> <p>4・28 11号線, 営団に免許(渋谷~蛸薬町間)</p> <p>5・10 控訴(被控訴人陸運局長)</p> <p>6・15 当社と駒沢大学との間で協定成立(出入口設置, 駅名変更)</p> <p>7・22 控訴取下げ</p>	<p>1・一 都, 多摩川浄化10年計画まとまる</p> <p>3・一 学校給食用質調理場完成</p> <p>3・一 世田谷区「健康都市」宣言</p> <p>3・一 世田谷区内の道路舗装率97.5%</p> <p>5・一 世田谷区開発公社設立</p> <p>8・一 世田谷区内の環状8号線道路全通</p> <p>9・一 区内の住居表示実施完了</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和47年(1972)</p> <p>2・3 第11回冬季オリンピック札幌大会開催</p> <p>3・15 国鉄, 山陽新幹線新大阪～岡山間開通</p> <p>5・15 沖縄復帰, 沖縄県として発足</p> <p>6・30 都営地下鉄6号線巢鴨～日比谷間開業</p> <p>9・一 日中国交正常化(日中共同声明に調印)</p> <p>10・20 営団地下鉄千代田線霞ヶ関～代々木公園間開通, 銀座線神宮前駅を「表参道」と改称</p>	<p>6・1 6事業管理部制実施</p> <p>7・17 恩田第4土地区画整理事業完成</p> <p>12・21 神木土地区画整理事業完成</p> <p>1・一 箱根ターンバイク西湘バイパスと接続</p> <p>3・2 小川第2土地区画整理事業完成</p> <p>3・16 宮崎土地区画整理事業完成</p> <p>3・24 北山田第1土地区画整理事業完成</p> <p>3・31 東急ターンバイクの有料道路業を譲受け</p> <p>4・1 田園都市線つくし野～すざかけ台間開通</p> <p>4・1 東急観光(株)が東急航空(株)を合併</p> <p>4・16 電車冷房装置取付け, 東横線25両, 目蒲線3両, 田園都市線8両</p> <p>4・20 田園都市線冷房車使用開始</p> <p>7・12 東急グループの総合スローガンが「人間の豊かさを求めるヒューマナイザー-東急グループ」と決まる</p> <p>7・17 恩田第4土地区画整理事業完成</p> <p>9・1 創立50周年式典を東横ホールで挙げる</p> <p>9・29 元石川第2土地区画整理事業完成</p> <p>9・30 宮前平サニーヒルしゅん工(東急ドエルシリーズ24番目)</p>	<p>8・7 「駒沢大学駅」問題訴訟事件の終了通知(法務大臣官房訟務部長より運輸大臣, 陸運局長あてに)</p> <p>9・27 第1期工事自社工区しゅん工</p> <p>11・1 帝都高速度交通営団と第2期工事の予備的打合わせ(直通に関する協議)</p> <p>11・11 帝都高速度交通営団と新玉川線建設事務所(大橋)で第1回基本計画会議</p> <p>12・一 第1期工事完成(委託工区もしゅん工)</p> <p>12・21 首都高速3号線全通</p> <p>3・1 都市交通審議会は13路線を答申(11号線二子玉川～渋谷～九段下～蛸殻町～深川扇橋)</p> <p>5・18 「大都市高速鉄道の整備に対する助成措置等に関する覚書」が大蔵省主計局長, 同理財局長, 運輸省鉄道監督局長, 建設省計画局長の間で締結</p> <p>6・9 日本鉄道建設公団法の改正, 民鉄線部の設立</p> <p>7・26 営団11号線と東急新玉川線との列車相互直通運転に関する覚書を当社と営団間で交換(建築定規, 車両定規の規格等を取決め)</p> <p>8・4 鉄道施設建設を日本鉄道建設公団において行なうよう申出(運輸大臣あて)</p> <p>8・31 運輸大臣が新玉川線の建設を鉄道建設公団に指示</p> <p>8・31 運輸大臣が新玉川線の建設を鉄道建設公団に指示したことを当社に通告</p> <p>9・1 用地部に新玉川線用地班新設(第2期工事に伴う用地買収開始)</p>	<p>3・一 中央卸売市場世田谷市場, 大蔵1丁目に開場</p> <p>4・一 砧小学校内に喜多見小学校創立(61番目)</p> <p>5・一 世田谷区の委嘱を受けた東京農業大学の区内全樹木調査結果 緑地1056万3878㎡(人口1人当たり約14㎡), 要保存樹木3320本, 樹林16ヶ所</p> <p>7・一 三軒茶屋公園開園</p> <p>11・一 世田谷区制40年記念式典</p> <p>12・一 1日現在世田谷区内世帯人口数, 29万6273世帯, 76万4331人</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p>昭和48年(1973)</p> <p>4・27 政府、資本自由化100%を5・1から実施と閣議決定</p> <p>11・14 下関～北九州市門司を結ぶ関門橋開通(全長1068m)</p> <p>11・27 都営地下鉄6号線日比谷～三田間開通</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>10月中東戦争が火を付けた石油危機による国民の不安高まる(石油ショック)</li> </ul> <p>昭和49年(1974)</p> <p>5・1 建設省、全国の土地価格公示、地価上昇率年32.4%で史上最高</p> <p>10・30 営団地下鉄有楽町線池袋～銀座一丁目間開通</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済成長率が戦後初のマイナス成長となり(低成長時代)に入る</li> </ul>	<p>10・5 長津田車両工場しゅん工</p> <p>12・4 ハワイに三菱商事と共同出資の現地法人オーキッド・アイランド・リゾーツ・コーポレーション設立</p> <p>2・1 4事業本部制実施</p> <p>4・20 鉄道部門と社員福祉施設の奥沢総合ビル完成</p> <p>5・1 東急グループの統一マーク決まる</p> <p>6・1 札幌東急ホテル開業</p> <p>10・5 さっぽろ東急百貨店開業</p> <p>10・7 最初のイン事業として上田東急イン開業</p> <p>11・1 京都東急イン開業</p> <p>12・10 山形東急イン開業</p> <p>6・1 自由が丘ほか6駅の自動改札化はじまる</p> <p>6・1 伊豆東急イン開業</p> <p>6・20 東急百貨店吉祥寺店開業</p> <p>8・1 広島東急イン開業</p> <p>10・1 旭川東急イン開業</p> <p>10・9 鹿児島東急イン開業</p> <p>10・29 熊本東急イン開業</p> <p>この年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新玉川線直通運転に備えて田園都市線各駅のホーム延伸工事はじまる</li> </ul>	<p>9・18 「新玉川線の建設および譲渡、引渡し基本協定」鉄道建設公団と締結</p> <p>9・30 「新玉川線の建設および譲渡、引渡し基本協定(9・18締結)に基づく工事施行協定」を鉄道建設公団と締結、これにより新玉川線第2期工事は鉄道建設公団の事業として当社が受託</p> <p>11・12 第2期工事着手(渋谷起点0.7キロ～二子玉川園間、工事着手届は第1期工事の際、昭37・7・10日付で届けずみ)</p> <p>7・24 帝都高速度交通営団との間に東京都市高速鉄道第11号線渋谷駅建設に関する基本協定締結</p> <p>9・14 工事着手届(工事着手9・10、渋谷～同起点0.7キロ間)</p> <p>10・11 「営団11号線渋谷駅建設に伴う受委託協定」を営団と締結</p>	<p>沿線小史</p> <p>8・1 二子玉川緑地運動場開設</p> <p>9・1 首都高速3号線に防音壁取付け、大気汚染測定網完成</p> <p>2・1 等々力溪谷の横穴式古墳一般公開</p> <p>8・1 「世田谷区開発公社」を組織変更して「世田谷区土地開発公社」を発足</p> <p>9・1 台風16号により多摩川決壊</p> <p>11・1 玉川小学校100周年記念実施</p>

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p><b>昭和50年(1975)</b>            3・10 国鉄、山陽新幹線岡山～博多間開業            9・17 政府、総事業費2兆円追加投入の第4次不況対策決定            12・27 石油備蓄法公布</p>	<p>6・14 多摩田園都市にコミュニティビル「東急藤が丘ビル」しゅん工            9・19 酒田東急イン開業            12・18 当社線にシルバーシート登場            12・24 自由が丘～駒沢間に新しい交通機関として、一部デマンド方式を採用した「東急コーチ」登場</p> <p>この年            ・新鋭車両8500形就役</p>	<p>3・1 「工事施行協定」の変更協定を鉄道建設公団と締結（長津田車庫の追加，完成予定期日を昭和50・9・30から昭和53・3・31に変更，費用見込額506.55億円）            4・9 シールド貫通式（渋谷）            8・8 中里～上馬間が貫通して渋谷～二子玉川間9.6キロが結ばれた</p>	<p>4・一 24年ぶりに世田谷区長公選が実施される</p>
<p><b>昭和51年(1976)</b>            5・6 都営地下鉄6号線高島平～西高島平間開通            10・1 国鉄、東京～品川間地下線開業            11・12 政府、7項目の景気刺激策決定            12・19 中央高速道路蕪崎～小淵沢間開通，日本道路公団の高速道路供用延長が2000kmの大台を突破</p>	<p>3・16 愛宕山東急イン開業            3・16 宮古島開発プロジェクトチーム誕生            5・一 8500形車両，ローレル賞受賞            6・22 富山東急イン開業            8・5 二子新地～溝の間立体交差工事完了            8・12 小倉東急イン開業            9・9 名古屋東急イン開業            9・24 釧路東急イン開業            10・15 田園都市線すずかけ台～つきみ野間開通</p>	<p>11・8 「新玉川線の建設および譲渡，引渡し基本協定に基づく譲渡もしくは引渡し条件等協定書」を鉄道建設公団と締結            11・8 送電式（大橋変電所）高压配電送電開始（渋谷駅を除く）</p>	<p>4・一 烏山川緑道「万葉の小径」として開設            7・一 世田谷区基本構想審議会条例可決される</p>
<p><b>昭和52年(1977)</b>            3・24 首都圏整備委員会第3次首都圏整備計画を答申            8・19 首都高速道路5号線池袋4丁目～高島平4丁目間開通により全線開通            11・一 閣議，第3次全国総合開発計画決定</p> <p>この年            ・円高旋風荒れる（1年間で22%の円高となり，日本の経済政策に海外の批判高まる）</p>	<p>4・26 和歌山東急イン開業            5・1 元住吉車庫の継電連動化            5・25 あざみ野駅開業            10・8 松本東急イン開業</p>	<p>1・16 駅長・助役・信号掛配置            1・22 電車線送電開始            1・24 線路締結式（二子玉川高架橋上り線）社長臨席            1・24 （社内）入線式（二子玉川園～池尻大橋）社長臨席            1・一 社内各種試験，検査ならびに監督諸官庁による検査相つぐ            2・10 営団渋谷駅電車線引渡し            2・10 渋谷送電開始            2・23 駅名変更届を提出            2・25 習熟運転開始            3・8 工事しゅん工届を鉄道建設公団に提出</p>	<p>1・一 世田谷ポロ市400年記念，代官行列再現（5年ぶり）            10・一 世田谷区制45周年特別区制30周年記念式典挙行</p>

一 般 ・ 鉄 道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
		<p>3・14 鉄道建設公団によるしゅん工確認</p> <p>3・22 3・24まで建設省によるしゅん工あるいは運輸開始検査</p> <p>3・26 3・8提出のしゅん工届に対し、鉄道建設公団よりその確認の完了通知を受ける</p> <p>3・28 「建設に要した費用の額の通知」鉄道建設公団に提出</p> <p>3・28 4・1まで運輸省による運輸開始検査</p> <p>4・2 3・8申請の旅客運輸開始認可</p> <p>4・2 営業ダイヤによって予行運転開始</p> <p>4・4 「鉄道施設譲渡契約証書」を鉄道建設公団と締結（これによって鉄道建設公団より新玉川線の譲渡を受け開業の運びとなった）</p> <p>4・4～5 沿線にある世田谷区の小学校11校の生徒約1200人を試乗会に招待（世田谷区長も同乗）</p> <p>4・7 初電から運輸開始</p> <p>4・7 午前10時より渋谷駅で修祓式、テープカット、二子玉川園で開通披露祝賀宴</p> <p>7・6 「新玉川線渋谷～二子玉川園間の建設に要した費用の確認について」および「新玉川線渋谷～二子玉川園間に係る利子および管理費の額の通知について」の両文書を鉄道建設公団から受ける</p> <p>7・26 7・6の両文書について、鉄道建設公団から譲渡価額の決定通知（460億8902万2000円）</p> <p>11・16 田園都市線～新玉川線直通快速列車運転開始（長津田～渋谷間）</p>	

一般・鉄道	社 内	新 玉 川 線	沿 線 小 史
<p><b>昭和53年(1978)</b>                      3・31 営団地下鉄千代田線代々木公園～代々木上原間開通（これにより小田急線と直通運転開始）                      5・20 新東京国際空港（成田）開港（5・21運航開始）                      5・21 京成電鉄空港新線 成田～成田空港間開通                      6・5 東北新幹線石橋～久喜間で試運転開始                      10・31 京王帝都電鉄新宿～笹塚間複々線で営業開始                      12・21 都営10号線（新宿線）岩本町～東大島間開通</p>	<p>2・1 下関東急イン開業                      4・16 新潟都市建設事務所新設                      7・1 東急スイミングスクールふたこ開業                      7・1 嶮山スポーツガーデン開業</p>	<p>8・1 営団地下鉄11号線（半蔵門線）渋谷～青山一丁目間開通し、新玉川線との相互直通運転開始</p>	<p>2・一 世田谷区基本構想審議会が「世田谷区基本構想素案」をまとめる、5月に成案として答申</p>
<p><b>昭和54年(1979)</b>                      3・9 北総開発鉄道北総線北初富～小室間開通                      12・20 営団地下鉄綾瀬～北綾瀬間開通</p>	<p>1・20 渋谷東急イン開業                      4・2 東急スイミングスクールたまプラーザ開業                      9・14 東急スポーツクラブつきみ野開業                      9・30 デマンドバス「東急コーチ」鷺沼線運転開始                      10・6 福島東急イン開業                      10・16 東横線にTTC(列車運行管理システム)を本格導入</p>	<p>7・23 長津田車庫使用開始                      8・12 全列車が田園都市線との直通運転開始、大井町～二子玉川園間は大井町線と線名を変更、この間の往復運転開始                      9・21 営団地下鉄11号線（半蔵門線）青山一丁目～永田町間開通</p>	
<p><b>昭和55年(1980)</b>                      3・16 都営10号線（新宿線）岩本町～新宿間開通、京王線との相互直通運転開始</p>	<p>2・20 東急五反田ビル開業                      6・1 札幌東急イン開業</p>	<p>3・20 駒沢3丁目～瀬田2丁目間残工事しゅん工（5・15建設省によるしゅん工検査、5・26同合格通知、これにより新玉川線全線の実質的しゅん工となった）</p>	